

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

| | |
|----------|--|
| P T A名 | 静岡県立袋井特別支援学校 P T A |
| 学 校 名 | 静岡県立袋井特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 |
| 全校児童・生徒数 | 335人 |

1. 使用状況

| | |
|---------------|---|
| 寄贈物品名 | シーソー遊具 (海のシーソー・オクトパスシーソー) |
| 使用学年及び人数 | 小学部1～6年生 132人 |
| 使用頻度 | ほぼ毎日(晴れた日) |
| 使用状況 | ○休みの時間に、小学部の児童が使用しています。 |
| 物品の使用による変化や効果 | <ul style="list-style-type: none"> ○遊び方が分かりやすいので、幅広い実態の児童が意欲的に遊んでいます。 ○児童が好きな揺れる遊具なので昼休みに外で遊ぶのを楽しみにしています。 ○今まで、外に出てもあまり自分から遊具で遊ぶことがなかった児童も、自分から遊ぶ姿が見られました。 ○一人ではなくて二人以上で遊ぶものなので、自然と友達との関りが生まれています。 ○他学年と一緒に遊ぶことも増え、高学年がシーソーで遊んでいる友達に「今から揺らすよ。」と言葉を掛けて、揺らす場面もありました。 |
| 今後の活用の見通しや課題 | <ul style="list-style-type: none"> ○今後も継続して、外遊び遊具の一つとして、活用していきたいです。 ○海のシーソーは、座位が保て、安全面を配慮したうえで、肢体不自由児童も活用していきたいです。 ○順番やルールを守るという面でも学びの場としていきたいです。 |
| その他希望や所感など | ○遊具広場に新しい遊具が増え、昼休みをととても楽しみにしています。遊具広場ががとても賑わっています。 |

2. 活用の様子



みんな、揺らすよ！

みんなで遊ぶと、たくさん揺れるね！楽しいね！



一人で乗ったり二人で乗ったり、
いろいろな遊び方ができるよ。

